

JISA 東京地区会 開催報告

令和6年12月3日(火)、TIS(株)豊洲オフィスセミナールームにおいて令和6年度東京地区会 生成 AI をテーマとするイベントが開催された。参加者は会場参加 29 名、オンライン参加 166 名、計 195 名であった。



東京地区会
代表幹事
桑野徹氏

冒頭、東京地区会代表幹事 (TIS(株)取締役会長) 桑野徹氏が開会の挨拶を行い、「今年度は4つの地区会がひとつとなり、会員と賛助会員を合わせて350社を超える大きな会となった。より一層の交流促進の思いから、今回の若手エンジニアを中心とした学習と交流のイベントを実施するに至った。皆様にとって有意義な会となれば幸いです。」と述べた。

第1部では、(株)ジェネラティブエージェント代表取締役 CEO 西見公宏氏から「LLM エージェントの仕組みと活用」についての講演をいただいた。講演では生成 AI エージェントを構成する要素といった基礎的な内容に加えて、生成 AI 活用と AI エージェント活用の違い、ビジネス環境に対する AI エージェントの役割といった具体的な活用についての説明があった。



(株)ジェネラティブ
エージェント
代表取締役 CEO
西見公宏氏

続いて第2部では、西見氏、(株)Parks 代表取締役社長水谷健氏、TIS(株)浅井琢氏、安川ひなの氏をファシリテーターとして、ワークショップが開催された。

ワークショップでは若手エンジニアを中心にさまざまな職種や立場の参加者が、生成 AI エージェントがどのような場面で活用できるのか、各々が職場において直面している課題を解決できるかといったテーマについて活発に議論が行われた。



(株)Parks
代表取締役社長
水谷健氏

最後に、講評が行われた後、職場への生成 AI エージェント導入の課題やヒントについて西見氏と水谷氏から語られ、盛会のうちに閉会した。

